

## オオワシ(タカ科) 全長 オス80、メス95センチ

2月21日のペアーレ大仙野鳥講座は大湊村に向かいました。

大湊村は渡り鳥の中継地として全国的にも知られる重要な地点です。この時季、大湊村にはガン、カモ類の冬鳥が数万単位で飛来することから、真冬にもかかわらず多くのバードウォッチャーが駆け付けます。

我が一行20名が出発した日は断続的な吹雪となり、とても野鳥観察ができるような天気ではありません。しかし、大湊村に到着したころにはすっかり風も治まり、日差しもさし込むなど絶好の観察日和になったのです。



黒い体、尾羽と肩が白いことから成鳥でした。

西部承水路に接する旧若美町に、オジロワシとオオワシがいるとの情報が入りました。道路から見上げる小高い丘の上。桜の大木にオジロワシ2羽とオオワシ1羽が悠然と留まっています。



このオジロワシはつがいでしょうか。



体を左に90度向きを変えました。太くて鋭く曲がった足指の爪。黄色い嘴も巨大です。

距離計で測ったところ、わずか85mの至近距離です。双眼鏡でも十分に確認でき、30倍の望遠鏡で眺めると大きな嘴と鋭い眼光まではっきりと確認できました。

大勢で眺めていたので気に障ったのでしょうか、オジロワシ2羽はほどなく飛び去ってしまいました。

しかし、オオワシは警戒するそぶりも見せません。こんな間近で観察できることは滅多にないことです。野鳥ガイドブックに載っている写真とそっくりで、まるで北海道の羅臼町に行ったような気分です。



オオワシの迫力に圧倒されました。

オオワシは国内猛禽類では最大の大きさ(翼開長240センチ)で、国の天然記念物と絶滅危惧2類に指定される希少種です。

約40分間も眺めていたでしょうか、1羽だけとどまっていたオオワシはゆっくりと向きを変えてから大湊村方向へと飛んでいきました。



お尻から出ているのは糞です。承水路で魚を捕まえ食べたのでしょうか。食事後そんなに時間が経っていない証拠です。



遠くを見つめ、何かに照準を合わせたかのように飛び立って行きました。

ありがとうオオワシさん、オジロワシさん。  
3月も来るので、またお会いしましょう。



大湊村生態系公園にて。オオ(まる)とワシ(4)で決めました？。